

藤枝・図書館友の会ニュース

<第23号・2015年8月発行>

2面・3面/第1回 ビブリオバトルの報告 4・5面/函南図書館見学会 報告
6面/県立中央図書館・子ども図書研究室10周年、駅南図書館・読み語り

報告 「第1回・ビブリオバトル」



友の会主催、「第1回ビブリオバトル」を6月7日(日)午後、開きました。(藤枝市立駅南図書館)

初めての取り組みで、“観覧者が来てくれるか?”と心配しましたが、定刻に60名ほどの方にご参集いただき、無事、開催することができました。

たくさん寄せられたアンケートで、多くの方が藤枝での初開催を評価されました。

一方、改善すべきいくつかの点も指摘され、次回開催の参考にさせていただきます。アンケートでのご意見・感想などを紹介します。

◆バトルと紹介された本

10代男性「宮の葉の庭」新海 誠著

20代女性「春季限定いちごタルト事件」

米澤穂信著

40代男性「雨の日も、晴れ男」水野敬也著

50代女性「自分でできるカウンセリング」

川喜田好忠著

60代男性「二階」松本清張著

◆チャンプ本 「雨の日も、晴れ男」

発表者 山口 純平さん(静岡市清水区)



5名のバトル発表の順番を待つ

初めて参加して面白いと思いました。普段は自分の興味ある本ばかりを読んでしまうので、他の方のオススメを聞くことで読んでみたい本の幅が広がると感じました。オススメの本に、その紹介者の思いがあって、その思いを聞くからこそ、より興味を持つのだと思いました。本が小さくて、見えなかったりするので、パワーポイントや資料に入れるなどするといいのかなと思いました。(20代女性)

アンケートの
感想文から

ビブリオバトルが終わったあとの意見を聞くと、来ている人も相当本好きが集まっていると知りました。当然、面白い本を知ることに通じる訳なのですが、発表の仕方、聞くことが面白かったです。5分でも伝えられるこの時間の濃さ、企画運営ご苦労様でした。(60代女性)

面白かったです。他市で観覧したことがあったのですが、藤枝でも開催されたのは、市民として大変嬉しく思いました。備えなくても出来るのかなとも思いました。若い方がバトルに入っているのも嬉しかったです。(50代女性)

アンケートの
感想文から

つづき

私は普段、本を読む事が無いのですが、このビブリオバトルに参加させてもらい、心を打つ本は自分の今の心情によって読みたい本が変わる様な気がしました。知識が無い分、こうした形で本や作家の紹介を聴けて本に対しての意識が変わりました。ありがとうございました！（30代女性）

藤枝市での初のビブリオバトル開催嬉しかったです。どのパトラーさんからも熱い想いが伝わってきて、とても良かったです。どれも読んでみたくなりました。（50代女性）

期待しすぎていて少し肩すかしです。年齢層の差はゆがめず60代の私が、10代・20代の子が良いとする恋愛やミステリーにはなかなか共感できません。パトラーに対する質問も、もう少し突っ込んだものかと思っていましたが、当たり障りのないものばかりで、これでバトルと言えるのかと思います。もう少し内容の濃いバトルの会を期待します。（60代女性）

今後もこのイベントを継続してほしい。とても興味深かった。発表者のインターバルを少しおいて余裕を持って聞いていきたい。（女性）

バトルは書物を広げるのにとっても良い活動ですね。発表の仕方（語りかけ）も投票に左右すると思いましたが、本の紹介だけでなく、本を読んでのご自身の生き方のようなものが伝わってきました。（40代女性）

初めてのビブリオバトルわくわくしました。皆さん緊張されていましたね。特にあと1分のベルが鳴ると慌てていて思わず応援したくなりました。各々皆さん頑張っていたと思いますが“どの本を読みたくなったか”そう思わせるには、なかなか難しいものだなと感じました。チャンプ本は参加者の年齢層にもよると思います（やはり自分の身近なものに一番関心が行くと思うので）（50代女性）

初めて体験しました。立場が違う人の本の紹介ですが、とても判りやすく、生での言葉には引き込まれるものがあります。第2回、第3回を期待します！世間での本屋大賞みたいに友の会大賞、みたいな賞があってもいいな。賞品、もう少し大きいものを望みます。（70代女性）

軽めの本が多かったですね。重量感のある本も紹介してほしいかったです。（60代女性）

好きな本を読んで欲しいという思いが伝わってきました。（20代男性）

一般市民がパトラー（発表者）であることに意義があると思います。文学だけでなく、歴史学、経済学、実用書など、あらゆる分野の本に市民の皆さんが興味を持つことができるでしょう。第1回の成功おめでとうございます。継続されることを希望します。（70代男性）

<寄せられた感想文から、編集部が引用・掲載しました>

観覧者・59名、アンケート回答・46名（女性・32名、男性14名）、

● 催事を知った方法

友の会のチラシ（図書館含む）・26名、友人・知人から・14名、ウェブサイトで・4名
その他・2名

● 参加者の住所

静岡市・6名、焼津市、牧之原市・各2名、吉田町、浜松市、沼津市・各1名、不明1名、
藤枝市・32名



ビブリオバトル感想 牧野希美

様々な年代の方と触れ合うことができ、楽しかったです！以前のビブリオバトルでは、大学生の発表しか聞いたことがなかったので、新鮮な気持ちでした。

違う年代の方の発表から、私もより内容に深みのある発表をしたいなあと感じました。

でも、今回は自分なりに発表をやり切れたので、良かったと思います。自分の好きなことを交えつつ楽しく発表でき、5分間が短く感じました。順番が最後で緊張しましたが、本を通して感じたことを伝えることができたと思います。

質疑応答でも、質問時間を超過してお話をしたいと感じ、むしろ私が質問者に聞いてみたいことがたくさんありました。聞いてくださる方も私の予想以上でしたし、温かかったです。また、主催の藤枝・図書館友の会さんが一生懸命進行してくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後もぜひ、ビブリオバトルに参加したいなあ、と思いました。本当にありがとうございました！

参加して考えたこと 国定量郎

ビブリオバトルというものに初めて参加した。まだ一般になじみがないし、私もそれまで知らなかったが、しかし、誰も自分の読んだ本を人に紹介したいという気持ちがあり、面白かったり感動したことなどを共有したいと思っている。そうした気持ちを何人かの人が、多くの人の前で紹介する競技は興味深く知的でもあった。ただ、当日は、私も含め皆さんは少し硬かったかなと思った。なにしろ初めてのことであり、バトルや聞き手もやり方や雰囲気にならなかつたから、これを何度か重ねていくことによって、よりリラックスした楽しいものになっていくことだろう。

私個人の感想としては、本の紹介は競うものかなと疑問に感じた。判りやすく興味深く、人が読みたいという気持ちにさせるような話し方は大切なことだが、弁論大会ではないのだから、競うものではないだろうと思った。競うという面をもう少し改善するのが、いいだろうと思った。しかしなにより、こうした知的な遊びが市民生活に根付いていくのはいいことだと思った。

ビブリオバトルのやり方



<事務局としてのまとめ>

1. 実施の提案、チラシ作成等で運営委員のM君が大活躍。彼が開催の功労者。
2. バトラー5名の確保が頼みだった。友の会外からの参加は「ビブリオバトルしぞーか」という団体のネット宣伝に負うところが大きい。発表順は当日、5名による抽選によった。
3. 資料としてバトルのルール、対戦メモ、チャンプ本投票用紙、アンケート用紙を用意した。
4. 「ビブリオタイマー」は、ネットでダウンロードし、プロジェクターでスクリーンに投影して使用した。習熟に難点があり、スムーズな運用に欠けた。
5. 司会、タイマー管理、ディスカッションタイムのマイク運用等は、役割分担が必要だった。
6. バトラーが発表する本を紹介する台が低くて観覧者に判りづらい、との指摘が多くあった。表紙を資料として印刷する、或はスクリーンへ投影するなどの方法を取ったほうが良い。
7. ディスカッションタイムが盛り上がらなかった、との指摘もあり工夫が必要。
8. 紹介された本を、すぐ入手したいので考慮してほしいとの要望があった。
9. 感想で多数の方が触れていたように、読書の輪を広げる手段としてバトルは有効な方法なので、継続的な開催が望ましい。市立図書館が発信・主催することで、さらに広がるのが期待されるので、図書館の主催も提案したい。

報告 函南図書館見学会



↑ 1階の「こども図書館」



↑ 2階の「交流ラウンジ」



↑ 一般図書の本架・窓側にある閲覧席
明るく、たぐくさん、ゆったり

7月2日（木）、友の会主催で函南町立図書館の見学会へ行ってきました。当初、中型バスの予定が、申込者が増えて大型に変更、36名の参加でした。2つの自治体から4名の市議員も参加されました。

田畑が広がるのどかな環境の中に、子育てふれあい・地域交流センターも併設された図書館は、明るく魅力的な建物でレイアウトも使い易く工夫され、素晴らしいものでした。

機会があったら、ぜひ見学してみたいと思います。(一般図書は2階…下に配覧図。1階はこども図書室) 館長さんの丁寧な説明の後、館内をゆっくり見学。

昼食、懇談の後、「かなみ仏の里美術館」を観覧。帰路、車中で市議会議員・遠藤さんのギター伴奏で歌う会をやりながら楽しい時間を過ごしました。

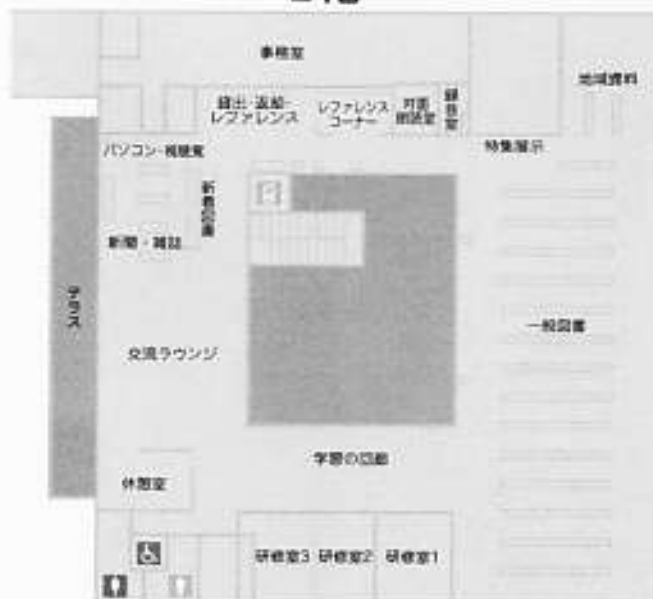
参加された皆さん、ありがとうございました。

寄せられた感想文から、一部を抜粋して紹介します。

…お金をかけずに“ステキな図書館”に近づける方法はただ一つ「職員の意識改革」だと思います。上に立つ人が耳を傾け意見・提案を肯定し励ましたら、一人二人と動き出し、やがて大きな力になるだろうと想像します。…こども図書館の飾り付けも手作りの暖かさで子どもたちをワクワクさせます。…読書記録のシール化も導入できたら、と思いました…

…駅南図書館の児童の靴ぬぎスペースの床が固いこと、子どもトイレにベッドが置かれ使いにくいこと、授乳室とトイレが間違いやすいせいかなが入ってくることなど、改善をお願いしたい、と函南図書館を見て思いました…

2階



…自分の読んだ本が読書シールとして残せることができると聞き、心とお薬手帳を思い出しました。自分が何を読んだか見ることができると、本を選ぶ時に便利です…

…建物が斬新ですし、図書館の機能だけでなく“人が集う場所”という感じを受けました。館内で食事できることや読書記録ができることが良いと思いました。藤枝でも実現できると良いのですが…

感想文つづき

…新しい図書館は他の図書館の長所を取り入れて造られているので設備が整っていて、羨ましいかぎりです。子育て支援センターが併設されていることも良いことだと思います…

…特に2階の外が見える窓側一面に机が長く伸びていて、田んぼを見ながら読書できる構造に驚き…(4頁の写真)

…建物の明るさ、環境の良さ、幼児の遊び場スペース、飲食できる場所、こども図書館、子育て支援窓口、親子が触れ合う空間等、誰もが図書館通いのリピーターになること請合いだと思います…



…他市町の図書館を視察するのは大変参考になります。子育て支援センターと併設されているのは藤枝にない点だと思います…

…明るく開放感のある館内で、どこからでも外の緑が見え、木製の書架と落ち着いたゆったりとした雰囲気がとても居心地が良く感じました。

…「友の会」がこのような見学会を計画し「もっと市民とつながる図書館を」、「もっと良くしていきたい」と頑張っている、力を感じます…

かなみ仏の里美術館を観覧しました

(以下の文書は、美術館パンフレットからの引用)

…一般図書がある2階は 1,300㎡で、そんなに広くはないが、新着図書、新聞・雑誌、学習スペース、対面朗読室、録音室、研修室等必要な要素を備え、交流ラウンジや飲食できる休憩コーナーがあるのは素晴らしい！
たくさんの席がある閲覧席は感激！

桑原薬師堂から かなみ仏の里美術館へ

函南町桑原区では、平安時代の「薬師如来像」や鎌倉時代の「阿弥陀三尊像」など、二十四体の仏像群が、里人の厚い信仰心によって守られてきました。

これら仏像群の散逸を防ぎ、後世に保存継承していくための施設として、明治30年代後半に桑原の有志により、長源寺の裏山中腹に「桑原薬師堂」が建てられました。

2008年(平成20年3月)に桑原薬師堂の二十四体の仏像群が、桑原区から函南町に寄付されました。そして町民の財産である貴重な文化財を後世に保存継承するとともに、多くの方々が鑑賞できる施設として「かなみ仏の里美術館」を設置しました。

函南図書館 見学会の記録

- 実施日/2015年7月2日(木)
- コース/JR藤枝駅北口9時出発
新東名IC経由函南図書館→
(大沼館長さんから説明受ける)
昼食休憩(和食処ふじ仙)→
かなみ仏の里美術館観覧
⇒三島村の駅⇒新東名経由
- 会費/バス代@2,500円
アンピア観光・大型バス
昼食各自(和食処 1,260円)
- 参加者/36名
- 実行委員/落合文子、桑原禎子
鈴木由利子、関口やち代



仏の里美術館入口で全員集合

6月20日、県立中央図書館で開かれた交流会は、記念講演会、県内図書館の活動報告等が行われ、県内外の図書館関係者が集い、学び交流した。

本誌上では、活動報告のうち「県立中央図書館子ども図書研究室」が10周年を迎えたとの報告があったので入手した資料を基に紹介する。

資料 静岡県立中央図書館・子ども図書研究室について

静岡県立中央図書館・子ども図書研究室とは？

2004年6月18日、「子どもの読書活動推進のため市町立図書館や児童書研究者等を支援する」目的で設置された。

場所は県立中央図書館の1階にあり、火～金曜日、午後2時～5時、職員が在室する。
(他の曜日、時間は2階の総合案内カウンターで対応)

一般の人も利用できる？

中学生を除く15歳以上の方は誰でも利用できる。研究室の資料は「研究用」と「貸出用」に分れ、後者は貸出可能。

所蔵資料は？

2014年度末⇒82,893冊

1. 調査研究用・保存用資料

全点収集資料(2003年以降については児童書の全点…コミック、ゲーム攻略本等を除く)、外国語児童書、雑誌、研究用図書に分類される。

2. 貸出用資料

絵本…グランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」で貸出
絵本以外…子ども図書研究室で貸出

子ども図書研究室は「子どもと本とを結ぶ活動」に関わる大人の方々の支援を目的としている。

子ども図書研究室 10年の歩み

- 2004年6月18日 開設
- 2006年6月 書庫を閉架から開架へ変更
- 2007年 子ども図書研究室 Web サイト 公開開始
- 2010年1月 「新刊児童図書巡回展示研修会」開始
- 2011年 ・団体利用受付開始
・地域活性化交付金により、貸出用資料及び大型紙芝居の購入
・大規模改修工事、レイアウト変更
- 2012年 リニューアルオープン
・一部、副本資料の個人貸出を開始
・「新刊サロン」の開始
- 2014年 10周年記念事業で「展示 絵本で知る世界の国々～IFLAからのおくりもの」開催

静岡県立中央図書館 子ども図書研究室 静岡市駿河区谷田 53-1 電話 054-262-1243

駅南図書館おはなし会 “読み語り”やりませんか！

毎週土曜日・日曜日の午後2時からの30分間、子どもコーナー奥「おはなしのへや」で行われている“おはなし会”。図書館職員やボランティアが読み語りを行っています。友の会は日程を調整しながら、これに協力しています。

対象は幼児から小学2～3年生位まで、あらかじめ絵本・紙芝居を選択し、3人1組で、一人2冊ほど読み語ります。関心ある方、やってみたい方、まず見学してください。日程など、詳しいことは下記へ連絡をお願いします。

友の会 読み語り担当 鈴木由利子 ☎643-1915



編集後記 2015年度活動の重点と位置づけた「ビブリオバトル」、「函南図書館見学会」が終了した。ビブリオバトルは予想外にたくさんの観覧者参加があった。見学会参加者も過去最多だった。皆さんのご協力に感謝。駅南図書館での読み語りも新しくトライしてみたいという方あり、会の輪が広がる思いがして励まされ、会報の編集に精をだしました。(H・K)

藤枝・図書館友の会ニュース第23号

2015年8月発行

メールアドレス fujieda_totomo@yahoo.co.jp

ホームページ 「藤枝図書館友の会」で検索してください。

<連絡先> 〒426-0044 藤枝市大東町 304-3・桑原英貴

電話・FAX054-635-0122